

## 練習は家族みんなの協力で

真田  
Sanada Rena  
玲菜 さん

西当別中学校 3年



全国少年フェンシング大会、女子中学生の部で2位  
2月上旬、フランス パリの世界大会へ

### フェンシングは静かなブーム？

**記憶**にまだ新しいと思いますが、北京オリンピックで日本人がフェンシングで初のメダル（銀メダル）を獲得しました。近年はフェンシング愛好者は徐々に増えています。全国では1万人、北海道で100人といわれていますが、道内のレベルは格段に上がってきています。そう話すのは、玲菜さんの父でコーチも務める昌浩<sup>あきひろ</sup>さん。自身が学生時代、フェンシングで汗を流し、国体出場の経験を持つことから、玲菜さんと弟も自然とフェンシングに親しんできました。

**週に**4日の練習の合間にも塾に通うなど勉強との両立に心がけているといいます。担任の石川先生は「根性もあり学校での成績も伸びています。他の生徒のように部活動ができな

いことを寂しがっていたようですが、保健体育委員長にもチャレンジして、見事にやり遂げました。」と応援しています。普段の練習は中学生も高校生の男子に混じっての実戦練習。腰痛や手のしびれなど、けがも多いといいます。「壁に当たった時は友達とおしゃべりしたり、音楽を聴いたりして発散しながら基礎練習を繰り返しています。これも家族みんなの協力があって出来たことと思います。」

### フェンシングして良かった事は

**全国**の友達に会えることが楽しみです。しかし、対戦中は友達であっても真剣勝負です。大きく出てきた相手にタイミングを取って突く。決まった時は楽しいです。また、競技を通して、物事は努力と実行がな

ければ成し得ないということが分かってきました。

**パリ**の国際大会は、全世界から男女合わせて600人前後が集まり、クラス別に朝6時から夜10時までのハードなスケジュールで戦うといいます。日本からは男女各4人が出場する予定。初の国際試合が本場フランスでの大会ですが、緊張はしていない様子です。

「高校でもフェンシングを続け、ナショナルチームへ入りたい。もちろんオリンピック出場が夢です。」と話してくれました。

### 町内でも見学できます。

毎週日曜日、午後4時から2時間程度、西当別小学校体育館で練習があります。（試合・遠征時にはお休みする場合があります。）

問合せは真田さん ☎ 26 - 3560

文化活動・交流の拠点  
ふれあい倉庫「赤れんが6号」

## ■ ふれあい倉庫情報

### 【カルチャーホール】

#### 「第6回歴史講座」

▼日時 1月30日(土) 13時30分～

▼内容 太美、高岡、川下、蔵岱、東裏の開拓

▼提言者 金子景次郎 氏

▼主催・問合せ 町教委社会教育課 (☎ 22 - 3834)

#### 「景観と看板のあり方を考える」セミナー

▼日時 1月20日(水) 18時30分～

▼内容 町内で見かける看板と景観に関するセミナー

▼講師 (株)KITABA 橋場光 氏

(株)ドーコン角田洋 氏 (コーディネーター)

▼問合せ 町美しいまちづくり課 (☎ 23 - 3073)

### 【多目的ホール】

#### 「歴史展示会」当別町の歴史ある写真や資料の展示会

##### ▼日時

1月29日(金)～2月4日(木) 10時～15時

▼問合せ 金子景次郎 (☎ 26 - 4019)

## ふれあい倉庫臨時営業

▼日時 1月2日(土)・3日(日) 13時～17時

ポイントカード会イベントにあわせ、営業します。

お楽しみ福引きで景品を当てるチャンス。

(お一人様一回限り)

## 当別町商工会歳末大売出し景品交換

▼抽選日 1月15日(金)

▼景品交換期間 1月15日(金)～2月16日(火)

11時～16時(月曜日を除く)

▼交換場所 ふれあい倉庫

▼問合せ 町商工会 (☎ 23 - 2447)

## JR石狩当別駅前南口駐車場について

駐車場は、ふれあい倉庫開館時間の午前9時から午後7時まで使用できます。夜間の駐車は、除雪作業に支障が出ますのでご遠慮ください。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)  
商工課 (☎ 23 - 3129)

続

## 町長の日記

平成21年12月11日(金)

今日は学園都市線の電化工事の起工式が札幌市の篠路駅で挙行された。

丁度、私は当別ダムの来年度の予算がどうなるのか見通しがつかない状況なので、道内のダム建設中の市町村長さん達と上京中だった。

10月には当別ダムの定礎式があり、12月には学園都市線の起工式なので一緒に東京に行った町村長さん達に「当別町はいいですね」と言われたが事業着工の儀式は終わっても実際に完成する迄には、どれくらい予算がつくのか、当別町の負担はどうなるのか全く予想が出来ない時勢なので悩みが大きい。

既に着工が決まっていた札幌区間は当別区間より事業費は3倍くらい多くても、札幌市の実際の負担はかなり少なくて済むが、来年度から調査が始まる当別区間は情勢の変化で町の実質負担は札幌市よりも多くなる。

「当別ダム」も「学園都市線電化」も「337号線の4車線化」も平成24～25年迄には完成出来る見通しだったが、ここへ来て不安が多い。

夜、ホテルで一人になった時、師走は「師のところへ走る月」と言うが今の私は走らなければならない「先生」が多くなってしまって誠に忙しい。

それでも、どの政党の先生も快く話を聞いて下さるので希望の持てる一日だった。だんだん眠気が差してきた中で子供の頃、札沼線が豪雪でラッセル車も動けなくなった時、沿線の農家の人達の意志で大きなスコップを持って除雪を手伝った良き時代の事を思い出した。

札沼線を敷いてくれた先人のお陰で私は「自動車」で高校へ通えたし、私の子供の時代は「ディーゼーカー」で高校へ通い、部活が終わっても帰ってこれた。孫の世代は「電車」で高校へ通わせてやりたい。

新年を迎えると当別町開拓140年になる。明治43年(100年前)鉄道院が篠路から当別方面に鉄路を実測の為に長い縄を張ったのを見て村民の喜びは大変なものだったと祖父が話してくれた事があった。

記録によると、鹿野村長さんが鉄道請願の為、初めて上京したのは今から90年前になる。

当別町長衆亭俊考